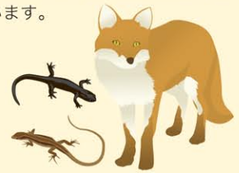
野幌森林公園の自然

野幌森林公園は、大都市近郊の平地林として世界的にも貴重な公園で、豊かな自然がたくさん残っています。公園内の道は整備されており、自然観察にはぴったりです。

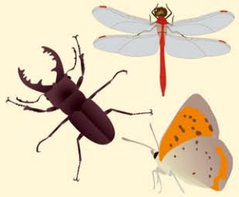
動物

キタキツネなどのほ乳類、エゾサンショウウオなどの両生類、カナヘビなどのは虫類が生息しています。鳥類は150種類以上が確認されています。



昆虫

クワガタムシなどの甲虫や、チョウ、トンボ、カメムシなど、1300種以上の虫が確認されています。



植物

トドマツやミズナラなど、100種を超える樹木、ミズバショウやフクジュソウなど600種以上の草花が季節を彩っています。

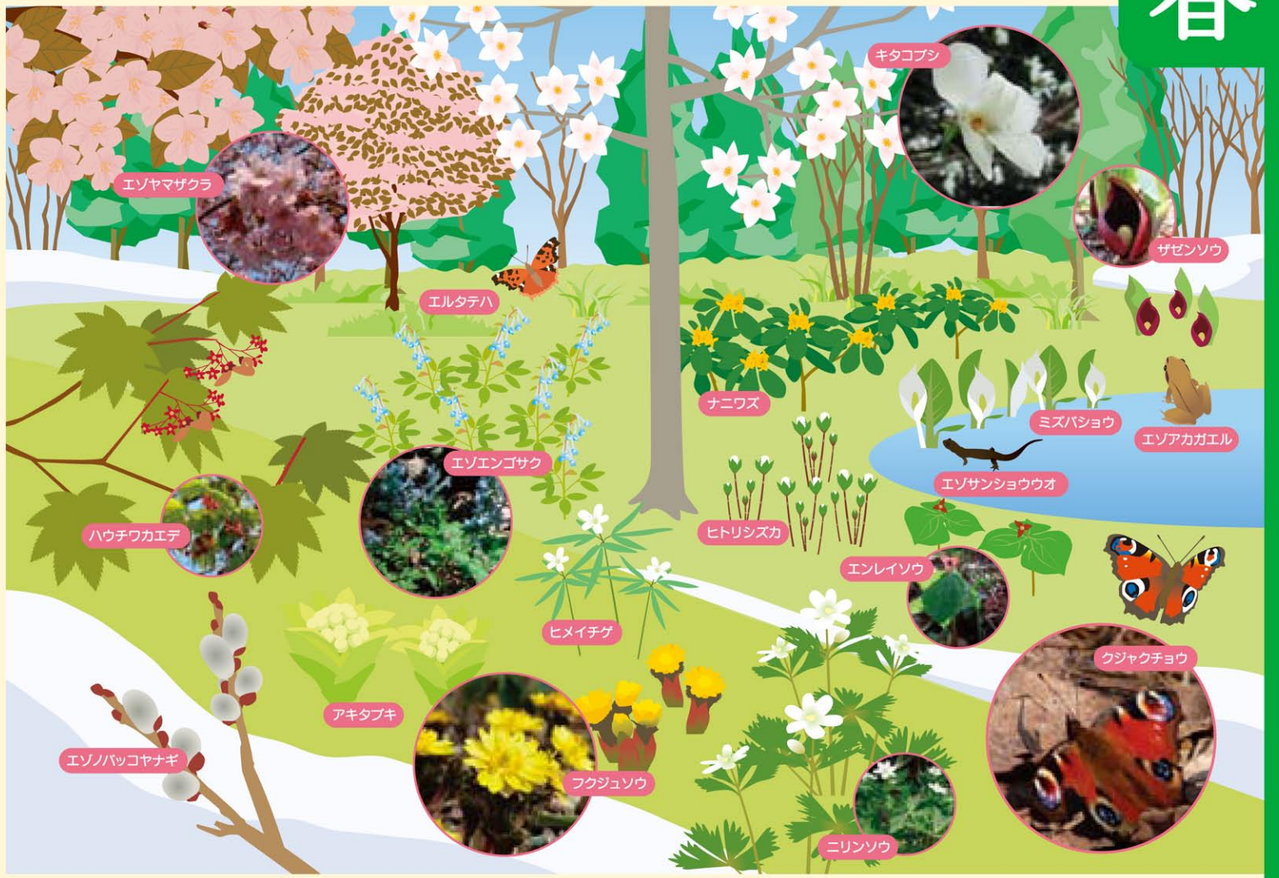
北海道立野幌森林公園
自然ふれあい交流館
☎011-386-5832

野幌森林公園や北海道の自然に関する情報や資料があり、自然観察会などの行事も行っています。

写真協力（46ページから50ページ）
濱本 真琴氏（自然ふれあい交流館）

春

樹木（じゅもく）の根元から雪がとけて地表が現れます。そこからいろいろな植物の芽が出てきます。



自然観察のポイント　春

さえずりで鳥がわかる！

春には多くの鳥たちがやってきます。さえずりにそれぞれ特ちょうがあるので、どんな鳥がいるのかがわかります。さえずりをたよりに鳥を探してみましょう。

オオルリ

水辺の紅葉樹を好み、「ヒーリーリー」や「フィーチョーチョー」と大きな声でさえずります。

キビタキ

林の中で、「ピッコロロ、ツクツクチィー」と明るくさえずります。

クロツグミ

地上におりてきます。「キョロィ、キーコ、キョコキョコキョコ」と陽気にさえずります。